

コア指標の考え方と選定理由

厚労科研 指定研究班

井上真奈美

(国立がん研究センター がん対策研究所 副所長)

中間評価に向けたコア指標の設定と選定の基本方針

—第90回がん対策推進協議会（R6.8.5）における提案—

- 全ての指標を漫然と評価するのではなく、重要な指標（コア指標）に絞ってメリハリをつけて評価することとしてはどうか。

- コア指標：選定の基本方針

- ①指標の評価として質が高い。（悉皆性、科学的信頼性）
- ②最終アウトカムへの影響が大きい。
- ③都道府県等の比較が可能となる指標が望ましい。

コア指標の設定状況

全分野の指標296個のうち、コア指標（案）は93個選定（最終アウトカムは全指標をコア指標として選定）

各分野別の設定状況は以下のとおり

選定したコア指標の詳細は【参考資料6、参考資料7】参照

分 野	アウトプット	中間アウトカム	分野別アウトカム	最終アウトカム	計
全体目標 「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」	—	—	—	12(12)	12(12)
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	18(3)	19(7)	4(1)	—	41(11)
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供	72(20)	46(17)	11(6)	—	129(43)
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	35(10)	32(9)	15(2)	—	82(21)
4. これらを支える基盤の整備	21(2)	11(4)	—	—	32(6)
計	146(35)	108(37)	30(9)	12(12)	296(93)

（ ）：コア指標³

コア指標の具体例

＜図の見方＞

- ・ コア指標のうち、6つの観点（①1次予防、②2次予防、③医療(提供体制)、④医療(チーム医療等)、⑤共生(相談支援)、⑥共生(サバイバーシップ支援等))に含まれる指標をロジックモデル上で表示しています。コア指標全体については【参考資料6、参考資料7】に記載しています。
- ・ コア指標と選定した指標を、着色セルに記載しています。
- ・ 分野別アウトカムは、ロジックモデル上での最終アウトカムへのつながりが見えるように、コア指標と選定していない指標も含めて、各分野における全指標を表示しています。（コア指標と選定していない指標は白色セルに記載）。
- ・ 中間アウトカム指標、アウトプット指標については、コア指標のみを表示しています。

コア指標案：① 1次予防

選定理由

- がん罹患への寄与割合がわかっている生活習慣要因
- 日本で対策が遅れており優先順位が高いもの（HPVワクチン）

生活習慣対策

中間アウトカム指標

BMI18.5以上25未満者の割合

食塩摂取量の平均値

1日の歩数の平均値

1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合

20歳以上の者の喫煙率

分野別
アウトカム

がん種別
罹患率減少

最終
アウトカム

がんの
死亡率減少

がんの
罹患率減少

感染症対策

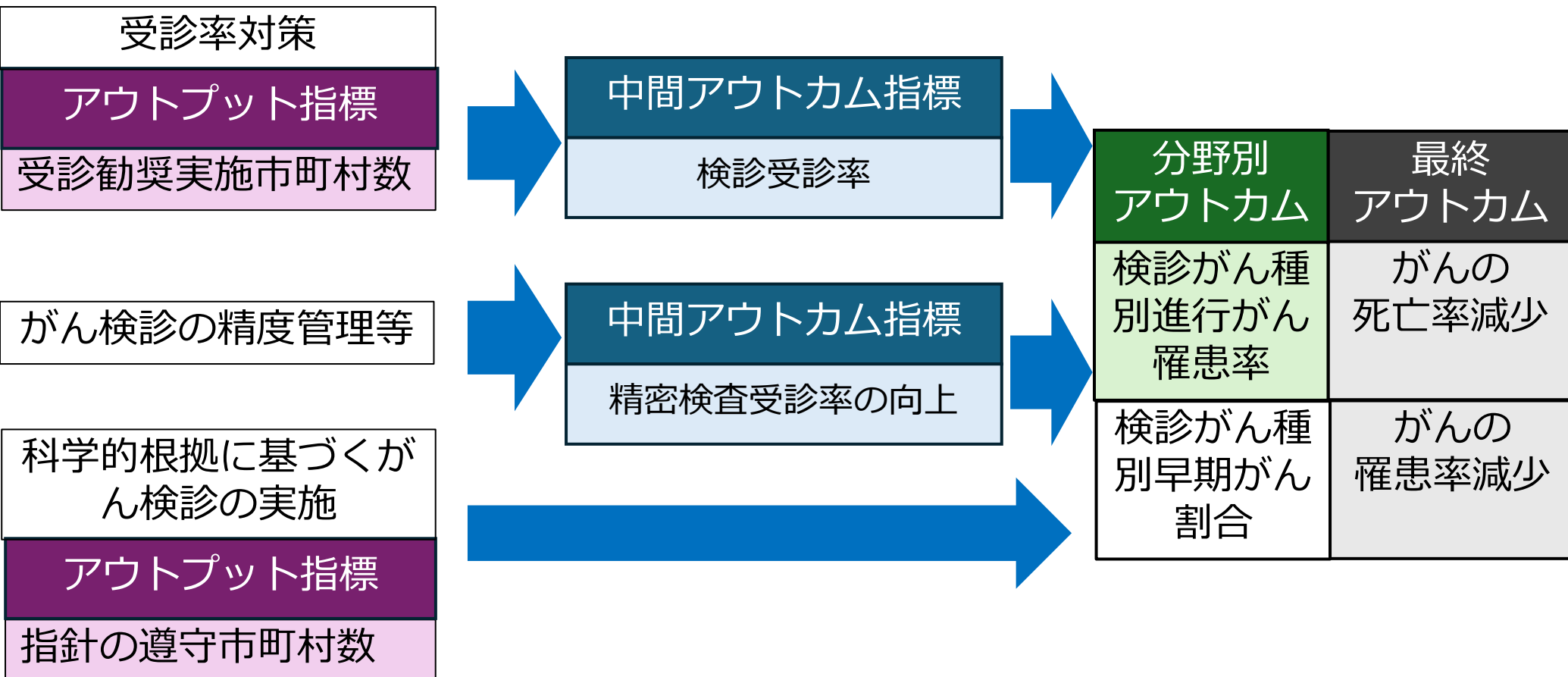
アウトプット指標

HPVワクチン定期予防
接種実施率

コア指標案：② 2次予防

選定理由

- がん検診の精度管理として従来から使用されている指標（確実性、比較可能性）



コア指標案：③医療－医療提供体制の均てん化・集約化－

選定理由

- 医療提供体制の役割・機能分担を評価する指標
- 主観的アウトカムとして患者が等しく医療を受けられたことを評価する指標

医療提供全般

アウトプット指標

- 役割分担に関する議論が行われている都道府県の数
- がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合
- 都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数

中間アウトカム指標

- 担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合

分野別 アウトカム

- がんの診断・治療全体の総合評価（患者が感じる総合評価）

最終 アウトカム

- がんの死亡率減少
- がんの生存率向上
- 患者・家族のQOL向上

病理診断

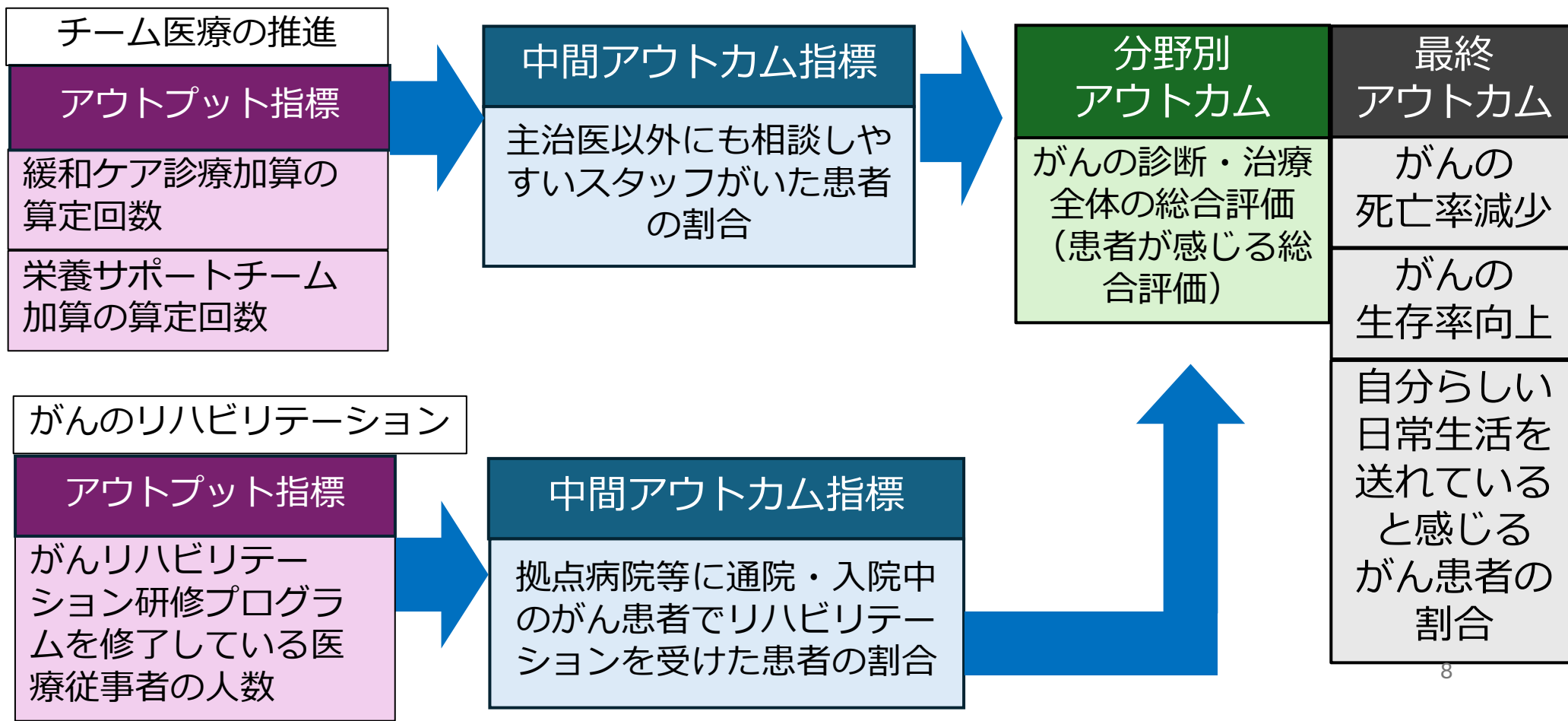
アウトプット指標

- 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合

コア指標案：④医療－チーム医療・がんリハビリテーション

選定理由

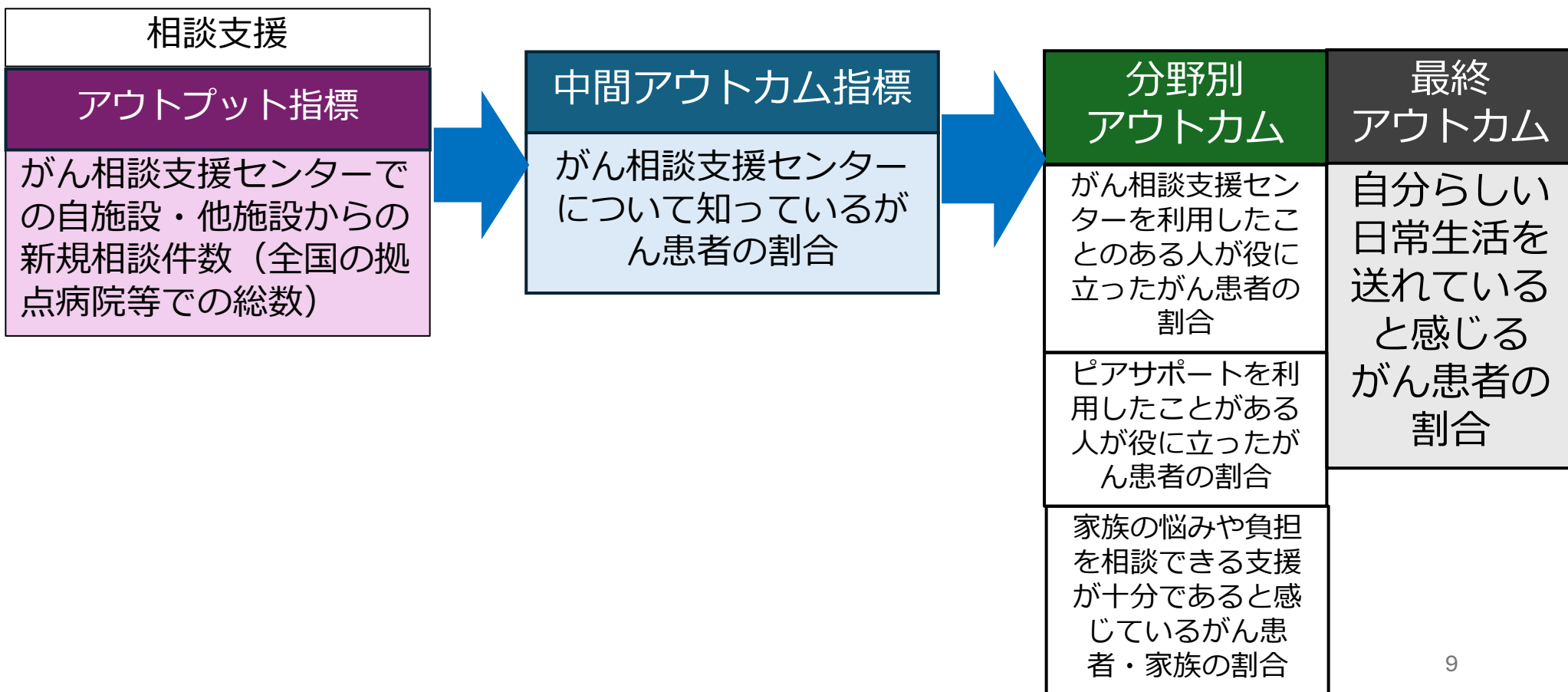
- 客観的に多職種連携を評価する指標
- 主観的なアウトカムとして多職種（医師以外）による相談支援環境の充実を示す指標



コア指標案：⑤共生－相談支援－

選定理由

- その後の両立支援の在り方が変わるため、治療開始前の早期介入を評価する指標



コア指標案：⑥共生－サバイバーシップ支援 就労支援－

選定理由

- その後の両立支援の在り方が変わるため、治療開始前の早期介入を評価する指標

就労支援（医療機関側）

アウトプット指標

拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数

中間アウトカム指標

治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合

退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合

分野別
アウトカム

治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合

金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合

がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合

家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合

最終
アウトカム

自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合

就労支援（職場側）

アウトプット指標

両立支援コーディネーター研修修了者数

中間アウトカム指標

治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合

まとめ

- 全指標（296項目）について、存在するデータで可能な限り都道府県別にベースライン値を算出し、公表した。
- 中間評価を適切に行うため、93個のコア指標を選定した。